

1 計画策定の意義

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、かつてない先行きが不透明な状況だからこそ、本計画において明るい未来への道筋を示し、これまで以上に区民一人ひとりが大切にされ、多様性を認め合う社会をめざします。また、安全で安心して暮らすことができるまちづくりを進め、区民とともに描いた未来「誰もが住みやすく、地域に愛着と誇りを持てるまち・港区」を実現していきます。

背景

- 新型コロナウイルス感染症による区民生活や地域経済への影響
- 技術革新の更なる進展や人々のライフスタイルの多様化
- 迫りくる大地震や近年大型化し多発する台風や豪雨による災害
- 感染者やその周辺の人々への差別や偏見が社会的に顕在化

困難に打ち克ち、区民とともに描いた未来を切り拓く

最も身近な行政として、区民一人ひとりを大切に、「命」と「健康」を守る

区民とともに描いた港区の未来である「めざすまちの姿」を実現する

本計画により区民や企業など地域の力を結集して「めざすまちの姿」を実現

2 めざすまちの姿

みなとタウンフォーラムの提言や区民意識調査で寄せられた意見を踏まえ、本計画の到達点を「めざすまちの姿」として設定し、区民とともに描いた港区の未来の実現をめざします。

誰もが住みやすく、地域に愛着と誇りを持てるまち・港区

- 区民一人ひとりが大切にされ、多様性を認め合い、港区への愛着と誇りを持って活発なコミュニティが醸成されているまち
- 誰もが住みやすく、夢に向かって挑戦し、いきいきと輝きながら躍動するまち
- あらゆる危機に強く、誰もが安全に安心して暮らすことができ、環境負荷の少ない持続可能なまち
- 進歩する先端技術が区民サービスに活用され、便利で快適な区民生活が実現している最先端のまち

3 重点課題

港区のめざすまちの姿を実現するため、重点的に解決すべき7つの課題を設定し、分野横断的に取組を進めます。

重点課題1

「新たな時代」に対応した区政運営への転換

AIや5Gなど先端技術を活用しながら、急速に変化する区民生活に対応した区政運営へ転換

【主な取組】

- ・ICTを活用した誰もがいつでもどこでも手続きができるサービスの実現
- ・学校の情報化の推進

重点課題2

あらゆる危機から区民の命を守る「強靱な都市」の実現

様々な脅威を想定し、あらゆる危機から区民の生命と財産を守り、安全・安心で強靱な都市を形成

【主な取組】

- ・帰宅困難者対策の強化
- ・新型コロナウイルス感染症等の新たな感染症への対応

重点課題3

まちの発展と環境負荷の低減を両立する「持続可能な都市」の構築

まちの発展と都心の水辺や緑を守り育てる取組を両立し、SDGsの達成にも貢献する持続可能な都市を構築

【主な取組】

- ・資源回収の拡大
- ・建築物の省エネルギー化の推進

重点課題4

多様な人がともに支え合いながら暮らす「地域共生社会」の実現

あらゆる人が、ともに支え合いながら、自分らしく生きがいを持って心豊かに暮らせる地域共生社会を実現

【主な取組】

- ・福祉総合窓口の設置
- ・人権尊重社会の構築

重点課題5

「人口増加」に伴い拡大する行政需要への的確な対応

拡大する行政需要に的確に対応することで、誰もが安心して住み続けられる環境を整備

【主な取組】

- ・特別養護老人ホームの整備
- ・学校施設の充実

重点課題6

地域の力を結集して課題を解決する「参画と協働」の推進

区民、民間及び全国各地域の力を結集し、都心にふさわしい「参画と協働」の取組を推進

【主な取組】

- ・産業振興センターの整備
- ・企業等と協働して行う取組の創出

重点課題7

東京2020大会の成功と「レガシーの継承」

東京2020大会を成功させ、バリアフリー化など将来を見据えたまちづくりを推進し、積極的に区の魅力を発信

【主な取組】

- ・MINATOシティハーフマラソン
- ・「泳げる海、お台場」の実現に向けた取組

基本計画が定める具体的なめざすまちの姿「誰もが住みやすく、地域に愛着と誇りを持てるまち・港区」を実現するため、各分野における区政の方向性を政策として示し、行政サービスを効果的に展開していきます。

計画の全体像

政策			
かがやくまち	1 多様な人びとがともに支え合う魅力的な都心生活の舞台をつくる	はげむまち	15 健やかな子どもの「育ち」を支える環境を整備する
	2 世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備する		16 子どもの個性、地域の特性を生かす学校教育を実施する
	3 快適な暮らしを支える交通まちづくりを進める		17 就学前児童ケアサービスを総合的に推進する
	4 自助・共助・公助により災害に強い都心づくりを進める		18 地域での支え合いと区民の自分らしく自立した地域生活を支援する
	5 安全で安心して暮らせる都心をつくる		19 高齢者のいきいきと充実した地域での生活を支援する
	6 持続可能な資源循環型の都心づくりを進める		20 障害者のゆたかで自立した地域での生活を支援する
	7 人や生物にやさしい、環境負荷の少ない都心環境をつくる		21 区民が健やかに安全に暮らすことができるよう支援する
	8 環境に対する意識を高め、健康で快適に暮らせる生活環境をつくる		22 誰もがスポーツを楽しむことができる機会の確保と環境を整備する
にぎわうまち	9 参画と協働により地域を支える多様なコミュニティをつくる	23 区民の多様な学習活動と誇りと愛着ある郷土意識の醸成を支援する	
	10 豊かな国際性を生かした多文化共生社会をつくる	24 先端技術の活用により利便性の高い区民生活を実現する	
	11 伝統と最先端技術が融合した区内産業を支援する	25 平和や人権、多様な価値観を尊重しながら、透明性が高く開かれた区政運営を推進する	
	12 港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援する	26 行政資源を効果的・効率的に活用し、先駆的な施策を推進する	
	13 港区ならではの魅力を生かした都市観光を展開する		
	14 豊かで多様な文化に包まれたまちづくりを進める		

SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、国や地方自治体、企業、教育・研究機関、NPOなど、様々な主体により積極的な取組が展開されています。SDGsが掲げる目標や方向性は地域課題の解決に資するものであることから、区は、本計画において政策や施策とSDGsとの関連を明らかにし、SDGsの目標を踏まえて区政を推進していきます。

区民生活に大きな影響を及ぼす課題や中長期的な視点から計画的に取り組むべき重点課題の解決に向けて、複数年にわたり財源を担保し、年次計画（令和3年度～令和5年度）により進める計画事業（ボックス事業）を実施していきます。

計画事業

事業数：38事業
事業費：851億円（令和3年度～令和5年度）

■主な計画事業（ボックス事業）

密閉型指定喫煙場所の整備

分煙効果が高い喫煙場所として、屋外密閉型喫煙場所又は屋内喫煙場所の整備を積極的に推進し、たばこを吸う人も吸わない人も快適に過ごせるまちを実現します。

産業振興センターの整備

港区の恵まれた環境を生かした産業の活性化、創造及び育成を図るため、「企業・人・地域の力」を一つに結びつけ、社会経済情勢の変化に即応できる最新の情報や技術を提供する「未来発展型の産業振興拠点」として整備します。

福祉総合窓口の設置

多様で複雑化した福祉課題を迅速に解決するため、あらゆる福祉相談を総合して受け付ける窓口を各総合支所に設置します。